

経営比較分析表（令和2年度決算）

岡山県 美作市

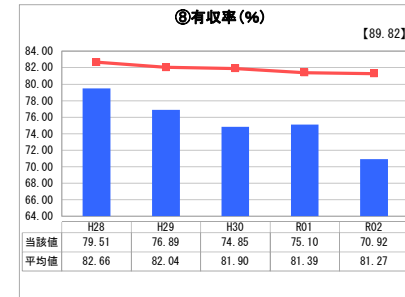
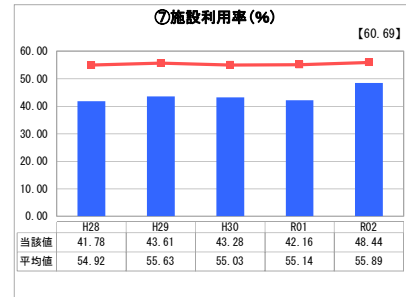
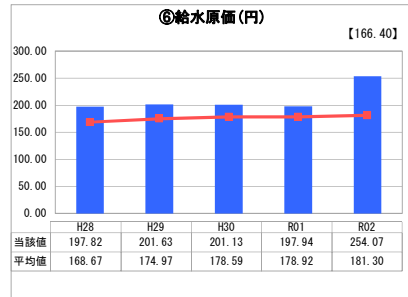
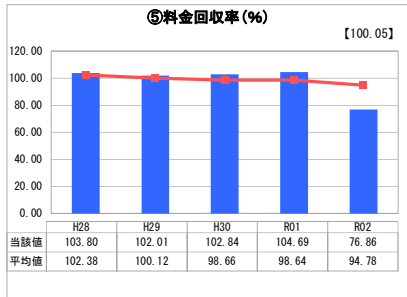
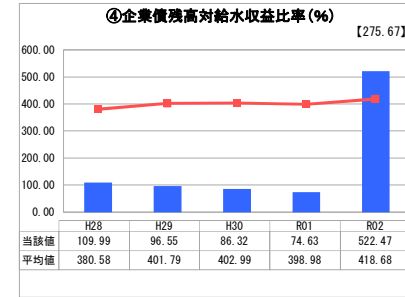
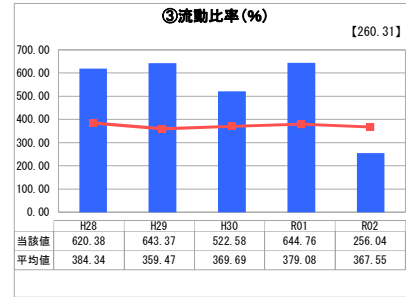
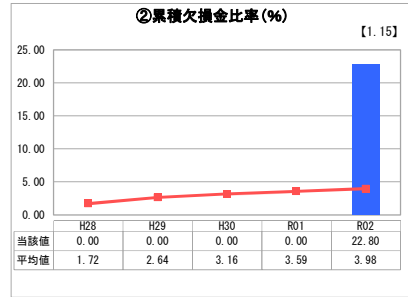
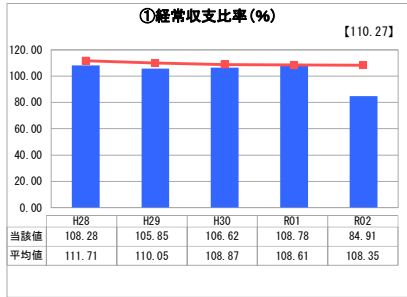
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	67.44	99.53	4,180	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,924	429.29	62.72
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
26,695	299.14	89.24

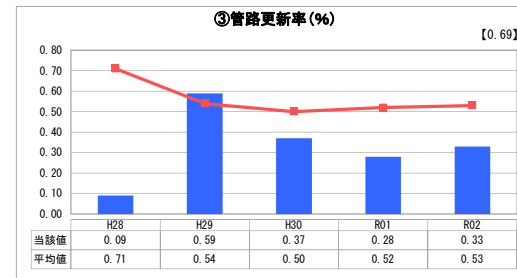
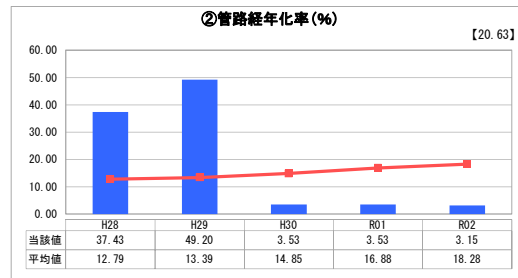
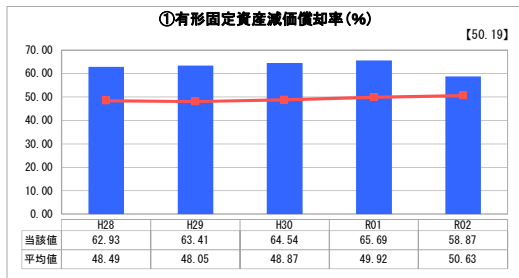
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の状況は、令和2年度から簡易水道事業を法適化し、上水道事業と会計統合したことにより数値が大きく変動している。

簡易水道事業は過疎地域という地域性による事業効率性が低く、給水収益で賄えない部分については一般会計からの繰入金に依存しているが、減価償却費相当額については繰入れていないことが影響し、経常収支比率・累積欠損比率・流動比率・企業債残高対給水収益比率・料金回収率・給水原価の悪化を招いている。

以上のことから今後も経費削減に努め、有収率の向上及び給水原価の抑制を図るとともに、適切な料金設定が必要と考えている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率では施設の老朽化が全国平均を上回っているが、管路経年化率は全国平均を下回っている。これは積算ベースを固定資産台帳から、取得年度情報を追加した管路台帳に変更、下水道事業や受託工事に伴う布設替えを反映したためである。

以上のことから、耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進め、管路更新率を上げていく必要があると考えられる。

全体総括

今後、人口減少に伴い料金収入の減少及び施設稼働率の低下、また、経年劣化による浄水施設の老朽化が進行すると予想される。

このことから、適切な料金設定及び施設更新時において統廃合及び広域化を実施し、経費削減並びに事業の効率化を図る必要があると考えている。